

令和7年3月教育委員会定例会会議録

日時 令和7年 3月17日(月)

13:30~15:30

場所 波佐見町役場 第2会議室

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
富木委員、松尾委員

事務局：朝長次長、渡邊指導主事、筒係長

1. 出席者の確認 なし

2. 会議録署名委員氏名

富木委員、松尾委員で了承されました。

3. 報告事項

1) 教育委員会

2・3月事業報告、3・4月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

2・3月事業報告、3・4月予定について

(別紙により筒係長報告)

※報告事項(追加・その他)

松尾委員 中央小学校に毎年行っていますが、在校生の参列は5年生6年生しか参加していませんでしたが、それはそのままでしょうか。

森田教育長 在校生の参加については、各学校に任せています。コロナが終わった後というところで、学校によってはキャパももちろんあるだろうとは思いますが、1年生に関してはなかなかその1時間半という長時間にというところもあるだろうと思います。東小学校は全員です、中央と南は5, 6年生、できるだけ集中してコンパクトに短時間でというところもあるだろうと思っています。在校生は一度登校をして、確認をしてから下校という形にしていると思います。

渡邊指導主事 それは卒業式でしたかね。各教室でリモート受けていたと思います。

松尾委員 去年はインフルエンザが広がっていたということはありません。

森田教育長 中央小は帰らせるんだけど、東小は多分、参列ができないので云々じゃなかったでしょうか。ちょっと確認したいと思いますが、そういうふうにコ

ロナ後に、必要な子供たちだけでということで変わりましたね。ただその代わり、きちっと在校生とのお別れの会とか行って、お互いの感謝の意味とか、あるいは触れ合いについては行っていますということで、式への当日の参加は条件をつける学校もあるようですね。

松尾委員

保護者の方から聞かれました。低学年、結局1年生2年生を初めて第1子で入れたお母さんたちから、5, 6年生がどういう式典をしているかということ、1年生2年生でも体験させたいという気持ちがあるようです。我慢できなくて座ってられない子もいるかもしれませんが、こういう時はこういうふうに静かにして式典を行えるようにするんだということ、小さい時から学ばせたいという意見もありました。コロナが明けてしまって、行事を継続した方が良いのか、少しマルバツではないですが、これは今までと同じように続けましょう、これは今までとちょっと変えて続行しましょうとか、そういうことが学校の方になかなか動きが見られないという意見がありました。確かに1, 2年生は卒業式を見たことないですね。そのまま5年生になって、式典に参加するというより、2年生から参加して式典の時には黙って座っておかないといけない、校長先生の話で返事はこういうふうに先輩たちがやっているんだ、というところを見て欲しいというお母さんもいらっしゃいます。

森田教育長

今おっしゃったのも当然だと思いますね。もちろんメリットデメリットあるんだろうと思います。私たちもそういう儀式的な行事の時には、そういう学びにつなげています。特に1年生はなかなか難しいところがあるとは思いますが、4年生5年生などは来年自分たちが、その次自分たちがという意識を高めるため、4年生5年生の参加はどうしても必要だと思います。低学年を参加させるデメリットの部分としては、低学年の先生方はそちらの方が気になってなかなかということが現実的にあります。トイレにも1人が行き出したら続けて行くとかあって、式の厳粛さということを求める時、やっぱり低学年の動きは気になりますという学校現場の生の声があります。だから総合的に学校側でコロナということをきっかけに、これまでの在り方について、意見交換とか研究をされた上での結論だと思っています。少なくとも6年度はこういうふうに、7年度はもしかしたら変わる可能性があると思いますが、どちらかというと見直しの部分で、簡素化という言葉が手を抜くということではなく、より集中した形で、コンパクトで短時間に、そして中身のあるということをやっていく方向には行こうと思っています。ただ、こういう儀式にはこういうふうに参加するんだよとかの学びはとても必要だと思いますから、その場面がいつなのかということは、学校としても研究してほしいということは伝えていきたいと思っています。他ございませんか。

富木委員

財政の関係で町長折衝というのものがあられたと思いますが、ある程度予算的には通ったんでしょうか。

森田教育長 予算的なもので今回厳しかったのは入学準備金が今回つかなかったのが1番大きかったです。後は、個別に要望したことはほぼ通りました。

朝長次長 財政サイドから標準学力調査の予算はつけるけど、今度の学力テストの結果について成果を出してほしいと言われています。

森田教育長 今回一番問題となったのは総合運動公園について予算特別委員会で意見がありました。

森田教育長 学力について、なかなか数値化は難しいところもありますが、やっぱり結果成果を数値化したものを出してほしいということです。波佐見町はかなりの教育予算をつけてるよね、例えば支援員さんだったりとか、標準学力調査を2回実施したりとか、夏休みの課題ドリルも予算化しています。おっしゃるとおり多分県内でもトップクラスの教育予算、教育環境条件は整備していると思いますが、にもかかわらずなかなか成果が出ていないよねというところの厳しいお言葉があって、まず標準学力調査は2回から1回にしてほしいのが最初言われました。ところが6年度まで行っていたEライブラリー業者との契約が今度切れたので、7年度からはベネッセというところの教育関係者と新たな契約をしました。そこで、標準学力調査とセットになっているミライシードというソフトのAIドリルと連動した部分で、その子の実態を把握して、その子の課題というところを解決するためのソフト面のドリルを活用する連動性を活かした学習環境を作るということで、3年間、7、8、9年度について継続して予算化のお願いをして確保しました。それと修学旅行について島への修学旅行についても、やはり長崎県波佐見町というところの地域性もあるのでというところで、来年度は東小学校と南小学校が行くようにしています。中央小学校がちょっと学年の実態で厳しいかなと判断されています。それと壱岐で出会いの村という施設を今までは使っていましたが、そこがもう50人以上は受け付けないということになってしまいます。そこで宿泊がホテルとか旅館になると、宿泊費も3倍増4倍増5倍増と掛かってしまうところがあるので、それに対する町の支援がなかなか厳しい現実がありますが、来年度については2校の島への修学旅行は確保しました。夏休みの課題集についてもつけましたが、冬休みについては取れませんでした。それよりも何よりも入学準備金については、総合教育会議の中でも馬場委員さんからおっしゃっていただいて、私たちも前向きにあるいは強めにお願いはしましたが、ふるさと納税がもし無くなった時に、それを全て一般財源化するのは財政的に厳しい面があるよねというところで、残念ながら来年度もつきませんでした。これからも強めに言っていきたいと思っています。移住定住促進あるいは子育て支援ということはとても大事なことでと思っていますので、お話をするようにいろんな入学支援のやり方があるんだろうとは思いますが、私たちが提案をした小学生中学生の入学補助っていうのが1番ベターではないかなと思っています。町長が答弁の中で、給食費が国の施策になればと

いうことを、いつもおっしゃっていましたので、その部分で浮く部分を教育委員会としては、こちらに回していただきたいということを強くお願いをしようかなとは思っているところです。

ですから8年度9年度あたりにそういう動きが、具現化できればうれし
いかなあということを思っている現状です。よろしいでしょうか。はい。
他にございませんか。

無ければ、次3番の議会について、お願いします。

3) 3月議会定例会について

朝長次長 別冊で、一般質問の答弁書ということで差し上げております。

【資料に基づき説明】

今回11名中6名の方が教育委員会関係の一般質問をされております。それと先ほど申し上げました10日の予算特別委員会の中で、総合運動公園について検討する部署を立ち上げなさいという意見書を教育委員会に出したにもかかわらず、その関係予算がどこにも上がってないというところを言われました。総合運動公園自体を作れとは言っていない、そうではなく、そういう協議する場を作ってほしいと言っているのに、それも何もしてないのかということと言われました。そういうことであれば、係内での検討は今後もしていきたいと思えますと回答しました。わざわざ議決までして出した意見書に対して、予算も何もされていないということは、おかしいとだろうということでした。結局は、今度の19日の予算特別委員会で、最初に田添議員の方から総合運動公園についての予算の質問をされます。それについては、副町長の方が答弁するということになっています。ですので、役場内にそういった関係部署で作る研究会を立ち上げる。それは予算なくても立ち上げられますので、そういった形での副町長の答弁となってくると思っております。今議会での一般質問と予算で話題に上がっているということでご報告させていただきたいと思えます。以上でございます。

馬場委員 先ほどの意見ですけど、町民からそういう声が、総合運動公園が欲しいという声をもともと上がっているんでしょうか。

朝長次長 それにつきましては、野球協会の方からはずっと言われています。いろんな波佐見町の基本計画とか、そういった計画の中で、研究会を立ち上げますというふうにしているけど、一向に研究会も立ち上げてないんじゃないかというところで、去年は要望書という形で議会から頂いております。要望書を出したけども、まだ全く立ち上がらないということで、今年は12月にわざわざ議会の当初に、議決という形で意見書を出したにもかかわらず、その体制、予算が何もされてないというのはどういうことかと、議会からの指摘を受けているというような状況でございます。

松尾委員	総合運動公園は、何を具体的に作りたいんですか。
朝長次長	陸上競技場と野球場です。鴻ノ巣公園周辺ら辺に作るという青写真があるんですけど、その当時14億ぐらいだったと思いますが、もう20年ぐらい前の予算なので、今では多分30億ぐらいになるのではないかと思います。
馬場委員	もともと野球場だけだったのが、それが今は拡大して総合運動公園っていう形になっていっているんだろうと思います。
朝長次長	だから今は野球場から作って、次に総合運動公園を整備していくとなっています。野球場もそんなバリッと良いものでなくていいという話をされています。筒香球場が2億円ぐらいだったという話を聞いていますが、その程度で良いんだからという話で、今は話をしていますが、それでもなかなか維持経費がやっぱり掛かるということで、話が先に進んでいません。財政的にとにかく厳しい状況ということです。
松尾委員	東彼杵町にありますか。
森田教育長	東彼杵町に総合運動公園はあります。
松尾委員	陸上競技場がありますよね。陸上はできますよね。
朝長次長	あの程度といたらおかしいですが、土のグラウンドで400メートルトラック、こういった施設だったら、そこまで事業費も上がっていかないのかなと思います。外野フェンスがあるというのが野球場の条件みたいです。
松尾委員	野球場だけを充実させるということでは駄目なんですか。
森田教育長	和島先生が教育長されていた平成10年からこういう話題が上がってきて、もう30年ぐらい近く全然動いていません。まずは、スポーツのまち波佐見、野球のまち波佐見と言われているので、そのことによる交流人口、関係人口が増えることによって、町の活性化、あるいは更なる伝統づくり、特色づくりに繋がっていくのではないかと、そのメリットの部分をずっとおっしゃるわけです。当然野球場だけだったら3億、駐車場を含めると3億から5億ぐらいあればいけるだろうと思うし、東彼杵の運動公園並みなものをそこにつけてというところでいけば、5～6億で済むんだろうとは思っています。ただ維持管理がどこまで掛かるか分かりませんが、今馬場委員さんがおっしゃったように、それが本当に町民の総意なのかというところの部分と、その維持管理について一応あらかたな計画の部分で町

長査定に持って行きました。教育委員会としてはそれ以上のこともできませんので、今の段階では、膨大な建設費と維持管理の現状を見た時、あとは町長以下関係他課と協議をしながら、今回は研究会を立ち上げていかなければならないなと思っています。研究会で研究協議をする中で、やはりこれは不要だろうという結論が出ればそれを尊重することになるかなと思っていますが、確かに活性化のメリットはあるだろうとは思いますが、本当に波佐見町に作らないといけないか。この30年近くの町民の方の御意見、今回は議決を経た意見書ということなので、何もしないわけにはいけないということで、役場内に関係課による研究会を立ち上げるという提案がされているのではないかと考えています。同時に、ようやく念願の施設整備室が立ち上がりましたので、特に教育委員会は助かるかなあと考えているところです。実際、給食センターの長寿命化、バリアフリー、体育館の空調という、施策を7年度に先行的にやっていきます。それがどうしても何千万単位になっていきますので、そういう大口の設計等々については、その担当室に全部お任せをしたいと思います。そういう機構改革が出来上がりましたので、随分助かっているところではありますけれども、そういうふうに、役場庁内での研究協議を重ねていきたいと思っています。他にございませんか。

バリアフリーで言うと簡易昇降機が南小学校以外、7年度につきます。それと他のバリアフリー施設も、ほぼ7年度8年度に、校舎も体育館にもつけます。そして、7年度に中学校の体育館に空調を設置して、8年度に小学校の体育館に設置したいと思っています。7年度8年度に、ほぼほぼハード面の整備は行っていきたいと思っていますので、県内でもかなり進んだレベルになっていくんではないかと思っています。その分大口のお金も掛かりますので、そういう担当課を立ち上げてもらったのは、とてもありがたかったなと私自身も思っているところです。

ただやっぱりふるさと納税との絡みがどういうふうになっていくのか、よく分からないところがあって、確かに6年度は予想よりも少し多かった、前年度並みは行くだろうということでした。ただこの20億近くのお金がつまであるのかということは、どうしても財政、町長は考えられていらっしゃるって、これが無くなった時、そこにつけたお金をどう一般予算から工面するかという大きな課題が出てくるということでした。実際、川棚とか佐々町あたりと人口規模的に余り変わらないんだけど、20億の差があるそのこの部分、それが無くなった時どうするかとおっしゃっています。ただ、私たちも、この前、上峰町に行ったときに、お金というところはやっぱり作り出さないといけないよね、有限性があるので、どうすれば良いか、どうして金を作り出すか、そのお金をどう有効に活用するかというのが、やっぱりこれからの行政は問われていますと言われました。確かにそうだと思います。どこの課だって、これを作ってほしい、あれを作ってほしい、そこに町民の方々からの要望もあると思うけど、本当にそのお金が必要なのかというところの優先順位だったり、思い切った削減とかいうものもあると思います。スクラップアンドビルドでやっていかないと、要望ばかり

していたらパンクすることは見えているわけだから、適切に壊したり、止めていくこともありなのかなと思っています。でも、まちづくりの根幹は人だと思っているので、人をどう育てていくか、人をどう支えていくかということが一番のまちづくりの根幹であろうと。そこに担っている教育委員会とすれば、やっぱり要望は強く出していきたいと思っています。

馬場委員

やっぱり教育委員会というのは、学校をフォローするための立場だから、学校のやりたいことを尊重して、それをサポートすることが役割ですよ。そこはちょっと変な話ですよ。

森田教育長

3番議題の部分に行きましょうか、また総括的なことがあったらお尋ねください。就学援助の認定についてです。

3. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長

今お配りしましたけど、今回は継続申請で経済的理由が4件、児童扶養手当が5件、それと新規で児童扶養手当が2件になっております。それと経済的理由の非認定が1件ございます。

【資料に基づき説明】

森田教育長

経済的理由継続の部分、今説明があったように、基準値につきまして1.2を下回っているということで、詳細については、資料が添付されておりますが、判定の部分としては承認という形でよろしいでしょうか。

【委員了承】

はい。では次は児童手当の部分と非認定についてお願いします。

朝長次長

【資料に基づき説明】

森田教育長

ただ、非認定の部分については、この資料の中では数値が1.5ということで基準値を上回っているということで非認定ということでよろしいでしょうか。

児童扶養手当の部分については、承認を得ているということで、承認ということでよろしいでしょうか。

【委員了承】

はい。ありがとうございました。では、持ち寄り議題は別として、その他の部分でお願いします。

4. その他

- 1) 教職員転出者あいさつについて
- 2) 教職員の人事異動について
- 3) 町内学校管理職歓送迎会
- 4) 町内施設巡り

朝長教育次長 教職員転出者の挨拶、これは以前あったようですね。

森田教育長 総合文化会館に教育委員会がある時は、教育委員さんたちにも時間あれば、来ていただいたらありがたいですと言っていましたが、昨年度から本庁舎になりましたので、もう代表者だけだったりという形にしていますので、また他の町民の方もいらっしゃいますので、なかなか難しいかなということで、もう各学校の状況に合わせています。わざわざ教育委員さんがその時間帯に来ていただくことはないかなと思っていますが、それでよろしいでしょうか。まだ学校の方にも何時来るか聞いていないので、恐らく25日前後に来られるかなとは思っています。

【委員了承】

2 番については先ほど説明があったので、詳細決まりましたら連絡したいと思います。裏の 2 ページ目の 3 番もそうです。来年度から 4 月第 2 金曜日を教育委員会主催の管理職歓送迎会の予定にしたいと思っています。4 月の第 2 金曜日、町長、副町長、それと教育委員の皆様、町内高校含めた 5 校の校長、教頭、高校は事務官も。それと教育委員会事務局、定年退職された先生方にも御案内をするという形で、固定をしていきたいと思っています。

1 番、2 番、3 番でお尋ねがありましたらどうぞ。無かったら 4 番の町内施設めぐりについて、説明をお願いします。

朝長次長 この前からですね、日を改めて設けて施設を見学に行こうと話があったので、この場で日程の調整がつくようであればと思い、あげております。

【調整】

森田教育長 4 月はやっぱり陶器まつりの準備とかもあるので、4 月ではなく 5 月を目途にしましょうか。

ではその他の部分で、持ち寄りで何か御意見等々もありましたらお願いします。

3. 議題

- 2) 持ち寄り議題について

山下委員	波佐見中学校から学習成果の新聞が、広報の回覧で回ってきました。 とても子供たちの学習に対する意欲があらわれた新聞を、拝見させていただいて、回覧で回していただいたということが、すごく良かったかなと思っています。
森田教育長	中学校1年生が総合的な学習の時間で、やきもの文化体験プログラムで学んだことを新聞にして、今回自治会で回覧してもらって、こういう活動やっていますよということの紹介をさせてもらいました。とても良い取組じゃないですかということで、やらせてもらっていたところです。2年生は、地元で頑張っている方々とトークセッション、3年生が町長さんらとのトークセッションプラス中学生議会という形で取り組んでいます。3年間に渡るやきもの文化体験プログラムの長期的なスパンの中で、初めてこういう新聞、学びを具現化したとてもいい取組かなと思っています。
馬場委員	いつでしたか。
山下委員	1月の自治会の回覧で回ってきました。
朝長次長	ひょっとしたら、どこかで止まっている可能性があるんじゃないですか。回覧だったので、回るかなと私も思っていました。これは良いということで、どこかで止まっている可能性があるのではないのでしょうか。
山下委員	自治会の班長だったので、最後に回ってくるのを待っていました。
森田教育長	学校に行ったらあると思います。
馬場委員	それは良い取り組みですね。
山下委員	普通の回覧で回ってきたらもらえないかなと思って、もらいに行こうかなと思っていました。
馬場委員	そういうものがあれば欲しいですね。回覧ではみていません。
森田教育長	県の方からも、波佐見町の社会教育で来年から3か年、公募の研究指定を受けて欲しいと今打診中です。中学校を中心とした学校と地域連携の研究発表を3か年やってくれないかの打診ですが、期間が長いので難しいと断っています。県はいろんな情報をしっているので、すぐ打診がありました。
馬場委員	社会教育の方は名指しで来ますので。
	南はわくわくワークデイをしている、東は支えあい隊をしている、中学

森田教育長

校もできるのではないかとすぐ掛かってきました。

他ございませんか。

馬場委員

中学校関連で、卒業式が本当良かったなと思いました。シンプルで良かったなど。歌の替え歌も石原先生の感覚かなあと思って、歌も良かったですね。パッといきなりああいう歌を聞くと何か感動しますよね。歌も日頃からの昔からの歌をみんなで歌っても良かったし、挨拶が少ないという意見はありますが、私の意見としては、PTA会長はやっぱりあそこで挨拶した方が、一番しんみりするのかなと思います。私たちは、卒業式も入学式も体育祭も全部挨拶してきて、何回もしてきてと思いますが、体育祭の時はワーワー言って落ち着きはないですが、やっぱり一番そん中でも、卒業式が一番思い入れがあります。私の希望としては卒業にPTA会長に挨拶をして欲しいなということをちょっと感じました。

森田教育長

各学校、一応会長さんにはされますかということで打診はしています。いいですというところもあったようです。教育委員会告辞と町長祝辞については文書配布だと思いますが、今おっしゃったようにPTA会長の挨拶は、三つの行事とも言いたい、いやこことこことでは言いたい、というところは各学校にお任せしています。多分明日の小学校はバラバラだと思います。

渡邊指導主事

中央はPTA会長が挨拶をされます。はい。2番。うん。あとは会長の挨拶がない入学式があるんですかね

森田教育長

馬場委員さんの思いも当然だと思いますし、ただもう学校にお任せしたいと思っています。参加する学年の状況にもよったりとか、時間的な配分の中で学校ではんだんされているとは思いますが。多分短くなることについては、どの方々も賛成はされるとは思いますが。

渡邊指導主事

明日の卒業式の確認です。明日は小学校の卒業式になっておりますので、東小学校が馬場委員さんと教育次長、9時半に学校の方にお願ひします。中央小が松尾委員さんと富木委員さん、教育長、9時40分までに中央小です。南小学校は山下委員さんと私で9時10分までに校長室によろしくお願ひいたします。以上です。

森田教育長

他ございませんか。

馬場委員

お知らせですけど、うちの仕事の関係で、子供たちの書道展を今度22日23日ウェブホールの小ホールで2日間開かせていただきます。小学生・中学生の作品2百何点かを展示しています。毎年やっていますので、時間があられたら、お立ち寄りください。

森田教育長

他ございませんか。

富木委員

この前ちょっと2か月ほど前、映画を観てきましたけども、「ら・かんぱねら」という話題の映画でしたが、佐賀のノリ漁師さん、楽譜も見たことない、ピアノも触ったことがない人が、毎日7時間、5年間ですかね練習をして、フジコ・ヘミングのラ・カンパネラを弾けるようになったという映画でした。夢を持つこと、努力すること、継続することの大切さ、それを達成できた時の喜びと感動、60歳になってからですかね、50後半からされたということで、60歳になっても70歳になっても、何かに挑戦することは、始めることに遅くないなということを、考えさせられた映画でした。何らかの形で講演といえますか、機会があればと良いなという気持ちはあります。そういった感動を得るといえるか、自分だけではできないけれどあの人と一緒にやっているんだということが映画の中でありまして、夢があるから生きられるということで、ピアノを寄贈された人が途中で亡くなられたわけですが、そういったリーダーでしたが、佐賀の方ですので、講演とかいかがかないかと思いました。

森田教育長

なかなか、この前の話題じゃないですが、もう動員かけてないので、本当に聞かせたい人が来ないというこの現実をどうするかといのもあります。家庭教育委員会は、もう来年度から別々にということで、町Pには提案しようとは思いますが。どんなにしたら保護者の方が参加していただけるのかと考えてはいます。動員しかないかなと思っていますが、どういう方法がいいのか。この前のPTAの講演会も授業参観日の後にしたんだけど、結局はそんなに多くありませんでした。どうしたら集まるんだろうと考えた時、やっぱり動員しかないんだろうなと思っています。他ございませんか。

では、4月の開催日時を決めていきたいと思っています。

【日程調整】

では、21日月曜日、13時半から4月の定例委員会を開催したいと思っています。

先ほど言った校長会の不登校の部分です。今渡邊先生のほうに集約をしてもらっていますが、令和5年度が、小学生が12名、中学生が19名の計31名を県に報告をしています。6年度の12月段階で、小学校が今1名減、中学校が1名減です。ただまだ1月から3月までありますので、可能性としては増えるかもしれません。ただ、人数的に横ばいですが、全欠がほぼいません。むしろちょっと小学生に増えてきたのが気になりますが、中学生は全欠はほぼなくて、週に1、2回学校に来ていますとか、総合文化会館に行っていますと、内容的には大幅に改善しています。ただ、特徴的に、兄弟姉妹、お兄ちゃんお姉ちゃん、あるいは同じ学級に不登校の子供がいると、不登校になりやすい特徴があります。ここは少し気になっていると

ころではありますが、これは波佐見町だけではありません。

次3その他のところで健康面に係る児童生徒の情報というところです。実は先週、中学生が救急車で運ばれました。原因は生理痛でした。強烈な生理痛で意識がなくなり救急車を呼んだようです。給食の後だったので、アナフィラキシーショックではないかと慌てたんですが、その症状ではなくて、あくまで生理痛がかなり厳しいということで、意識が飛んでしまった部分で救急車で運んだ事案が一つありました。

次、学校評価をこの時期どこの学校でも行われますが、学校評価が無記名匿名になった場合、かなり辛辣な学校批判が書いてありました。私たちもちょっと目を通した時に、もうこれやる気なくすよねというようなことを、匿名になるとやっぱり書かれるわけです。それはそれで構わないところもあるとは思いますが、学校としては今後アンケートを取る時に、こういう実態だから、どういうふうにしたら良いと思いますかという、その改善策まで書いていただくような手だてを取りたいという意見が出ました。言われっ放しは学校は、がっかりして、ショックの方が大き過ぎて、やる気なくしちゃうよねというような、評価が幾つかありました。やっぱりこれは評価としてどうなのかなあと、そうだったら来年度から改善策まで書いていただく方向でいこうと確認をしました。

それと集団登校についてです。今集団登校で小学生の車登校も随分増えてきました。そうなった時、同じ地区で真面目に頑張っている子、車で行っている子がいてもバラバラになっています。こうなると集団登校の意味が本当にあるのでしょうかという声が出てきたので、いや波佐見町教育委員会とすれば徒歩による集団登校で耐性の教育という方針はあります。学校側や教育委員会が指導するのではなく、何のために歩かせているのか、ということをもっと保護者や地区のPTAで協議すべきことと思うので、そこをもう1回投げ掛けてくださいということを行いました。保護者、地区PTAがもっと協議をして、どんなふうな子供たちを育てていきたいか、だから歩かせているんだよねというところの確認をしてくださいと言っています。ただ、どうしても社会情勢上、もううちの子1人しかいないとか、他の理由があれば、そこは地区でしっかり話し合っ、だからバスに乗せてください、だからタクシーをお願いしますということを、地区で話し合っ、その総意をもって来てくれれば、私たちはそれを追認します。もう少しそこはしっかり親御さんで考えて欲しいと思っています。楽だからとか、簡単だからではなく、何のための集団登校なのか、何のための徒歩登校なのかを、しっかり考えてから、親としての構えの部分と、地区でしっかり話し合っ、協議をしてもらいたいということのお願いをしたところでした。協議後にお願いがあれば、分かりましたということで追認していきたいとは思っています。なかなか委員皆様方の時代と、少しずつ確実に変わってきているなあというところが、難しいところではありますが、各社会教育がらみの会議の最後の締めの部分でいつも言っていることは、やっぱり私たちが踏ん張らねばですね、私たち頑張らないと、ずるずると行ってしまったら、もう戻すことはできませんよね、今最後の踏ん張りど

ころかもしれませんねえということです。もうちょっと私たちが頑張って、今の保護者の方々に思いを伝えて行って、保護者の方々の行動の改革がつながっていけば良いのかなあと、踏ん張りどころかなあということを思っているところです。なかなか難しいです。

はい。他になれば3月の定例の終わりたいと思います。この1年、皆様方の圧倒的な御理解、御支援、御協力の中で、波佐見町の教育委員会の活動が、いっぱい課題はもちろんありますが、とにかく仲よくと良いですか、楽しくと良いですか、いい雰囲気の中で、教育委員会が開かれていること、あるいは様々な施策、行事等が行われることは、とても私たちは嬉しく思っていますし、皆様方と意見交換をしたり、情報提供頂くことが、私たちの事務局としての業務にも大変力強いですし、ありがたいと思っています。今後とも、連携性をさらに深めていきながら、楽しく学べるために頑張っていきたいと思っていますので、御協力、御理解、御支援のほどよろしくお願いいたします。1年間お疲れさまでした。ありがとうございました。

5. 前回会議録確認 (2月定例会の会議録を確認。)

※次回定例会予定 令和7年4月21日(月) 13時30分から
波佐見町役場新庁舎

令和7年3月17日教育委員会定例会会議録署名	
署名 委員	松尾 保子
	湯 木 義 興

